

令和5年度 芸術科 音楽Ⅲ シラバス

科目	単位	履修学年	区分	教科書(出版社)
音楽Ⅲ	2	3年	選択B	音楽Ⅲ(教育出版)

1 「音楽Ⅲ」の目標

音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情と音楽文化を尊重する態度を育てるとともに、感性を磨き、個性豊かな音楽の能力を高める。

2 授業の内容

【表現】表現に関して、次の事項を指導する。

(1) 歌唱

ア 楽曲の表現内よを総合的に理解し、表現意図をもって創造的に歌うこと。 イ 様々な表現形態による歌唱の特徴を理解し、表現上の効果を生かして歌うこと。

(2) 器楽

ア 楽曲の表現内よを総合的に理解し、表現意図をもって創造的に演奏すること。 イ 様々な表現形態による器楽の特徴を理解し、表現上の効果を生かして演奏すること。

(3) 創作

ア 様々な音楽材の表現効果を生かした構成を工夫して、表現意図をもって個性豊かに音楽をつくること。 イ 様々な様式や演奏形態の特徴を理解し、表現意図をもって個性豊かに音楽をつくること。

【鑑賞】鑑賞に関して、次の事項を指導する。

ア 音楽の構造上の特徴と美しさとのかわりを理解して鑑賞すること。 イ 現代の我が国及び諸外国の音楽の特徴を理解して鑑賞すること。 ウ 音楽と他の芸術や文化とのかわりを理解して鑑賞すること。
エ 生活及び社会における音楽や音楽にかかわる人々の役割を理解して鑑賞すること。

3 授業方法・形態

一斉授業(2時間連続)、講義、教科書を用いながら、適宜、副教材等を取り入れ、生徒の理解力、表現力の向上を図る。

4 評価規準・評価方法 ※次の4つの観点から評価を行う。

評価の観点	趣旨(到達目標)	評価方法
1 音楽への関心・意欲・態度	音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心をもち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。	◇聞く(聴く)態度 ◇学習意欲(発言・積極性) ◇ワークシート・課題 ■定期考査(筆記試験)
2 音楽表現の創意工夫	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図を持っている。	◇学習活動の様子 ◇ワークシート・自己評価表 ■実技試験(独唱、独奏)
3 音楽表現の技能	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を委につけ、創造的に表している。	◇実技課題進捗状況 ◇学習活動の様子 ■創作曲
4 鑑賞の能力	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。	◇ワークシート ■定期考査

5 年間指導計画

月	時数	題材名	題材のねらい	主な教材	主な指導内容
4	10	音楽と関わる仕事①	生活・社会における音楽や音楽に関わる人々の役割を理解する。また、表現上の効果を生かして、個性豊かに表現する。	○ふるさと ○海の声 ○発声のエクササイズ ○Jポップ	・姿勢や身体の使い方、呼吸法、共鳴の様子など ・曲想と歌詞の言葉の意味、歌詞が表す情景や心情などのかかわり
	10	音楽と関わる仕事② キーボード演奏	楽器の音色や奏法の特徴を生かして、楽曲にふさわしい伴奏をつくる。	○楽しい童謡(ぞうさん/ぶんぶんぶん/思い出のアルバム)	・歌と伴奏それぞれの役割を知り、バランスに注意して演奏する
5					
6	9	コーラスやヴォーカルアンサンブルで美しい響きを追求しよう	重唱や合唱における各声部の役割や声部間のバランスを理解するとともに、楽曲にふさわしい表現やよりよい響きを追求することにより、アンサンブルを楽しむ。	卒業写真/桜の葉 他 ○これまで取り扱った教材より選択	・各声部の役割や、声部間のバランスと調和 ・曲想と歌詞の言葉の意味や歌詞が表す情景や心情のかかわり
7	8	ボディー・パーカッションやリズムを楽しもう	ボディー・パーカッションで様々なリズムの表現活動を行い、その経験を生かしながら音楽を作る喜びを味わう。	ソルフエージュリズム編	・リズムの読譜や記譜の方法 ・ボディー・パーカッションによるリズム・アンサンブル
9	8	楽器の音色と表現上の効果を楽しもう	ピアノやギターの音色や作品の特徴と表現上の効果とのかかわりを知覚し、主体的に鑑賞する。	バロック時代、印象主義の音楽 ○Hey Jude ○Take me home, Country Roads ○Happy Xmas(War is over)	・ピアノの音色の特徴と表現上の効果とのかかわり ・言語活動を伴った批評
	8	ポピュラー音楽と私たち	様々なポピュラー音楽に興味をもち、その発展について理解する。		・曲想と歌詞の言葉の意味や歌詞が表す情景や心情のかかわり
11	8	コーラスやヴォーカルアンサンブルで美しい響きを追求しよう	重唱や合唱における各声部の役割や声部間のバランスを理解するとともに、楽曲にふさわしい表現やよりよい響きを追求することにより、アンサンブルを楽しむ。	結/『美女と野獣』より主題歌 他	・各声部の役割や、声部間のバランスと調和 ・曲想と歌詞の言葉の意味や歌詞が表す情景や心情のかかわり
12	6	我が国や郷土の音楽に親しもう	三線や和楽器にチャレンジして音楽表現の幅を広げる。また、音色や奏法に工夫を凝らしながら楽しむ。	○これまで取り扱った教材より選択	・三線、太鼓などの和楽器の特徴と基本的な奏法 ・謡の発声の特徴を生かした表現 ・我が国や郷土の伝統音楽の特徴と文化的・歴史的背景
1	8	オペラやミュージカルを楽しもう	オペラやミュージカルの表現形態や特徴を理解して、舞台作品を歌う喜びや鑑賞する楽しさを味わう。	Nessun dorma/O mio babbino caro 他	・曲種による発声の違い、言葉のリズム、旋律などの特徴
2		音楽とかわかる仕事・著作権 まとめと反省	これまでの学習活動を振り返り、自己評価を行う。	卒業の歌/合唱曲	・総合的な芸術表現における音楽的な要素とそれ以外の要素とのかかわり ・楽曲の表現内よを総合的に理解し、表現意図をもって創造的に歌う